

「建築士の日」一斉活動
防災・減災について考えよう～HUG から学ぶ～

『避難所運営ゲーム HUG 体験会』② アンケート集計

◆アンケート集計状況

回答 20名 参加者 56名 *回答率 35.7%

◆1 年代

0～9 歳	1 名	
10～20 代	0 名	
30 代	1 名	
40 代	3 名	
50 代	7 名	
60 代	5 名	
70 代以上	3 名	*40～60 代で 75%

◆2 セミナー内容について

A. 参考になった 20名 B. 不十分 0名 C. その他 0名 * A 100%

- ・ HUG を千葉でもやらねばと思った。
- ・ 現実味を感じた。
- ・ 道路、配置等いろいろ考えさせられた。
- ・ 宮城の復興の様子を知ることができた。
- ・ 初めての HUG、自分達も実際に役立つよう訓練を重ねたい。
- ・ 初めてセミナーに参加、取り組み方など勉強になりました。
- ・ カードゲームを通して防災について学べたから、参考になった。
- ・ 分野の違う方がいて、多くの意見があり大変勉強になった。
- ・ 実際に起こりうる事に対して具体的に考える事ができた。
- ・ やってみて、わかったことがあった。
- ・ 自身が小学校の近所に住んでいるので、身近に感じた。
- ・ すばらしい体験をさせていただきました。
- ・ 色々な人が、それぞれの立場で経験を基に防災を考える事は重要で、新たな発見がある。
- ・ 避難訓練も実施体験したが、いざという時の対応は非常に難しいものであり今回を参考にしたい。
- ・ 突然の災害に不安になっている方の心等考えながら、いまできる最善を尽くして防災委

員として行動しなければと思いました。

- ・ 普段考えていても、実際やるということを常にやらないとダメと思った。
- ・ 避難場所には多くの人が集まるので、自分勝手にならず皆が協力しなければと思った。

◆3 東日本大震災後、防災・減災に関してご自身の考え方に変化はありましたか

A. 変化があった 17名 B. かわらない 3名 C. その他 0名 *A. 85%

◆4 東日本大震災後、防災に関する自助・共助・公助に対する考え方に変化はありましたか

A. 変化があった 18名 B. かわらない 3名 C. その他 0名 *A. 90%

- ・ ボランティアに参加するようになった。
- ・ 自助・共助が大切だと思う。公助はあまりあてにならない。
- ・ 防災士になりました。
- ・ 始めに声を出す事の大切さを知りました。
- ・ 防災訓練に積極的に参加しています。
- ・ 自助・共助・公助それぞれに役割があり、それぞれの立場で何が必要かを平時に考える事の重要性を再認識した。
- ・ まず自身の廻りをしっかりと備えること、次は共助する勇気を持ちたい。
- ・ 部屋ごとにライトを置くようにした。
- ・ 避難する際に最小限必要な物をリックにつめた。
- ・ 日々の個々の備えがより重要になると思う。
- ・ 防災袋 [妻、子用]

◆5 東日本大震災後3年経過していますが、お仕事・日常生活で留意されていることはありますか

A. あり 18名 B. なし 2名 C. その他 0名 *A 90%

- ・ お客様に家具の固定、耐震改修の重要性を活かすようになった。
- ・ 避難所生活に耐えられる生活を経験してみたい。
- ・ 情報を得るため外出時には携帯ラジオを持って行きます。
- ・ 備蓄が増えた [日常食料]
- ・ 自治会、地域活動に拡張していきたい。
- ・ 常に東日本の状況を見守っている、記憶がさめないように。
- ・ 家族との連絡
- ・ 防災訓練に積極的に参加しています。
- ・ 職業柄、応急仮設住宅の建設について考え、活動している。

- ・食料の備蓄、家具の固定、物品・大切な物の仕分け、保管に努めた。
- ・連絡の取り方、場所の確認

◆6 防災に関して建築士に相談したいとおもったことがありますか

A. あり 3名 B. なし 11名 C. その他（建築士です）6名 *B. 55%

- ・地盤や基礎について
- ・防災について

◆7 今後、このような講習会がありましたら、ご参加頂けますか

A. 参加したい 14名 その他 6名 *A. 70%

- ・内容によって
- ・都合によって

以上

防災委員会 村松 久